

優しさあふれ 人が輝き

誰もが生きがいをもって暮らせるまちへ

池田地区の未来を考えるにあたって、
みなさんが口々に語られていたのは、
この池田が好きという想いでした。
私たちは、そんな大好きな池田をまもり、
そして次の世代につなげていきたい。
そして、一人ひとりが優しく、生き生きと輝き、安心して、
楽しく暮らしやすい地域をつくるために何が必要なのか、
これからも皆さんと一緒に考え、
池田地区の未来を豊かに育んでいきたいと思います。

キャッチフレーズ

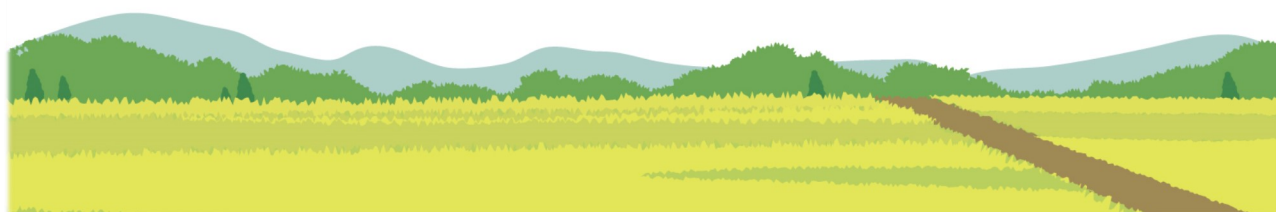
「笑顔でつながるべえ～いけだ」に込めた想い
地域づくりで大切にしたいものは、
池田に住んでいる人の笑顔です。
子供からお年寄りまで、年齢や性別、立場の垣
根を超えてみんながつながり支え合えるまち。
日々の暮らしの中で「優しさ」を感じ「愛着」
と「誇り」をもち、未来へつなげていきたいと
いう想いを表したものです。

池田地区地域づくり計画

計画期間 令和6年度～10年度
～5カ年計画～



池田地区振興協議会



1) 池田地区地域づくり計画の役割

池田地区では、行政区を始め、様々な団体が地域の特性や団体の実情に合わせ、地域活動に取り組んできました。しかし、昨今の人口減少や少子高齢化などにより、このままでは地域活動がこれまでのように行えなくなるだけでなく、地域の暮らしに様々な支障が生じることが予想されています。

そこで、池田地区振興協議会では、人口減少や高齢化などの地域課題を見据え、将来にわたって子どもから高齢者まで全ての方が安心して暮らせることができ「この池田に住んで良かった」と思えるような地域を目指して進めるための羅針盤として「池田地区地域づくり計画」を策定しました。

この計画は池田地区の住民が一丸となって取り組む活動目標を定めたもので、池田地区における地域づくりの活動の基本となります。また、社会の状況の変化に適切に対応するために5年ごとの見直し検討を行い、常に時代の変化や地域の状況に対応した地域づくり計画を目指すこととしています。

人口が減っても住みやすく、住んでいる人が誇りを持ち、ひとり一人が輝ける地域になるように将来像を決め、それに向かって進んでいきます。



2) 池田地区の現状と課題

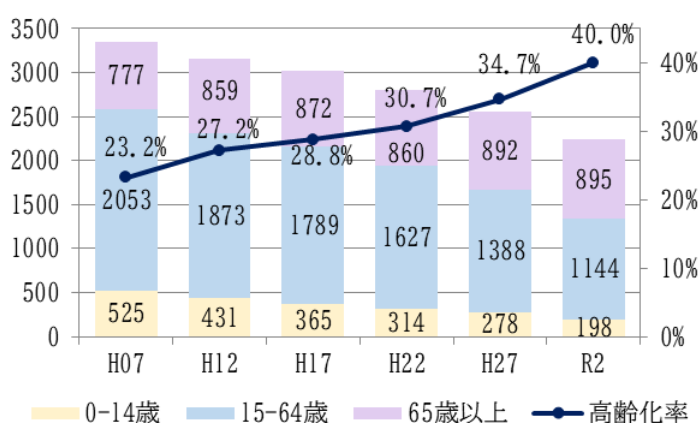
池田地区は沼田市の北部に位置し、豊かな自然、観光名所や歴史ある史跡、そして、美味しい果樹などの農産物が豊富に存在する魅力ある地域です。

明治22年4月1日に利根郡池田村が誕生し、昭和29年4月1日に旧沼田町など5町村と合併しました。合併当時5000人以上いた人口は少しずつ減少し、令和5年では約2200人となっています。

今後も少子化による子どもの減少、人口減少による農家の担い手不足や耕作放棄地等の増加が予想されます。また、社会情勢の変化、価値観の多様化や個人主義化の進展により地域の共同作業やお祭りなどの参加意欲の衰退、定年延長などによる地域の役員のなり手不足が懸念されています。地域活動の基本となる地域コミュニティの維持は、年々厳しくなっています。

今後の課題として、現状を正確に把握し、未来を見据えつつ、地域住民が共に協力して取り組むことが不可欠です。地域の豊かな特性を守り、将来に受け継ぐためには、今から徐々に具体的な取り組みを開始する必要があります。住民の協力と共感を得ながら、地域全体での取り組みを成功に導き、持続可能な未来を築いていくことが求められています。

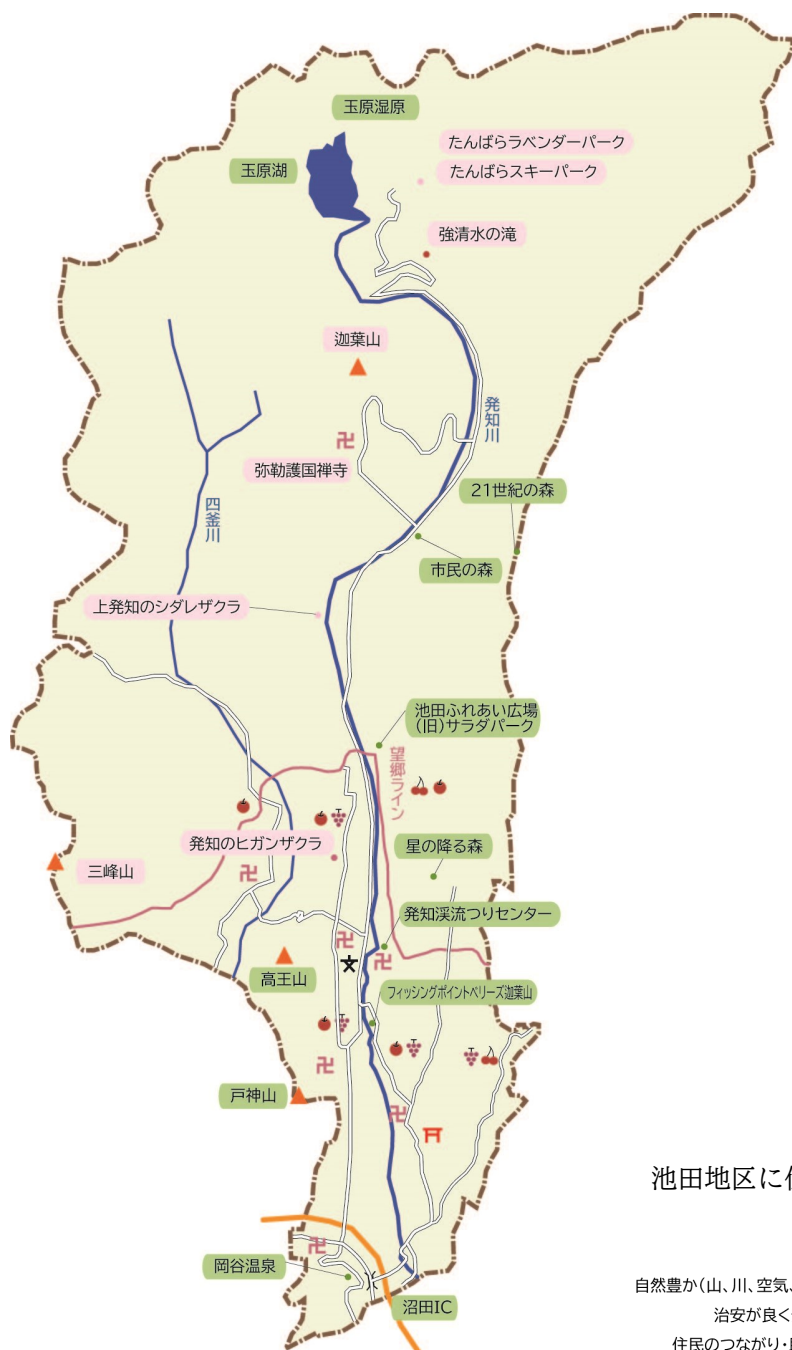
このような状況を踏まえて将来像となる池田地区の「ありたい姿」を描き、そこから現時点を振り返り、長期的、複眼的な視点で地域づくりを進めていく必要があります。



	H12	H22	R2
人口	3,355人	2,804人	2,238人
世帯数	892	895	849
世帯あたり	3.47	3.14	2.67
0～14歳	431	314	198
15～64歳	1,873	1,627	1,144
65歳以上	859	860	895
高齢化率	27.2%	30.7%	40.0%
65～74歳	506	516	460
75歳以上	353	344	435
85歳以上	81	139	180

3) 池田地区の資源 ～池田のお宝～

池田地区は周辺を山々に囲まれ、田園風景が広がり、美しい自然環境に恵まれ、四季折々の自然が地域の生活に影響を与えています。地区内ではサクランボやブドウ、リンゴなどの果樹の産地で多くの観光客が訪れています。都市部に比べて人口は多くはありませんが、お互いに助け合うことで、人々のつながりや地域コミュニティの結束が強く、神社・仏閣など多くの歴史や伝統文化が継承されてきました。



歴史・文化・自然

迦葉山弥勒寺
奈良古墳
桜(上発知、中発知、岡谷、秋塚)
強清水の滝
玉原高原/玉原湿原
発知川

観光施設

ラベンダーパーク
スキー場
発知溪流つりセンター
フィッシングポイントベリーズ迦葉山
星の降る森

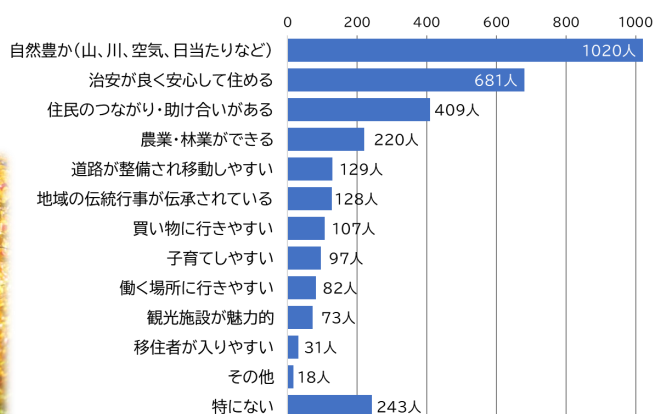
池田の自慢

おいしいフルーツ(サクランボ、ブドウ、リンゴ、ブルーベリー、プラム)
おいしい水、米、野菜
災害が少ないこと
四季が感じられる
人の優しさ
区民フェス

活用したい施設

サラダパーク
ニュースポーツ広場

池田地区に住んでいて良い点は何ですか
(全住民アンケートより)



4) 池田地区の主な活動

池田地区では1年を通じて様々な活動が行われています。地域の安全を守ることや地域の交流を図るための活動、健康増進を推進するためのスポーツ大会、郷土愛を育む上毛かるたなどを開催しています。令和5年9月には、振興協議会が中心となってIKEDA区民フェスが開催され、子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、地域の交流の場として地域の活気につながっています。

池田地区の主な事業

月	主な事業
4月	池田神社春季例祭 小中学校入学式 交通安全運動 各団体総会
5月	春の市内一斉清掃・道路愛護運動 戦没者慰霊祭 春季ゲートボール大会 ひとり暮らし高齢者調査
6月	奈良古墳の花植 育成会ボランティア活動 沼田かるた大会 ふれあい・いきいきサロン
7月	親善ソフトバレーボール大会 ひとり暮らし交流会 交通安全運動
8月	市民体育大会
9月	池田中学校運動会・IKEDA区民フェス ふれあいマス釣り大会 秋季ゲートボール大会
10月	秋の市内一斉清掃・道路愛護運動 池田地区グランドゴルフ大会 レクリエーション大会 健幸ウォーキング大会 敬老記念品配布
11月	池田地区文化祭 高齢者長寿慰問 交通安全運動
12月	上毛かるた大会
1月	
2月	書き初め展 年賀はがきコンクール
3月	

振興協議会事業

1. 戦没者慰霊祭（池田地区忠霊奉賛会）
2. 奈良古墳の花植
3. IKEDA区民フェス
4. 文化祭
5. 児童生徒書き初め展

社会福祉協議会事業

1. ふれあいマス釣り大会
2. 高齢者長寿慰問

財産管理会事業

1. 現地調査

スポーツ協会

1. 親善ソフトバレーボール大会
2. 市民体育大会
3. 健幸ウォーキング大会

青少年育成連絡協議会

1. 沼田かるた大会
2. レクリエーション大会
3. 上毛かるた大会
4. 年賀はがきコンクール

老人クラブ連合会

1. ゲートボール大会
2. 玉原散策
3. 研修視察

民生児童委員協議会

1. ひとり暮らし高齢者調査
2. ふれあい・いきいきサロン
3. ひとり暮らし交流会
4. 子育てフェスタ

交通安全協会

1. 交通安全運動

その他

1. グラウンドゴルフ大会
2. 囲碁サロン・囲碁大会

5) 住民アンケートの結果

■ アンケートの回答状況

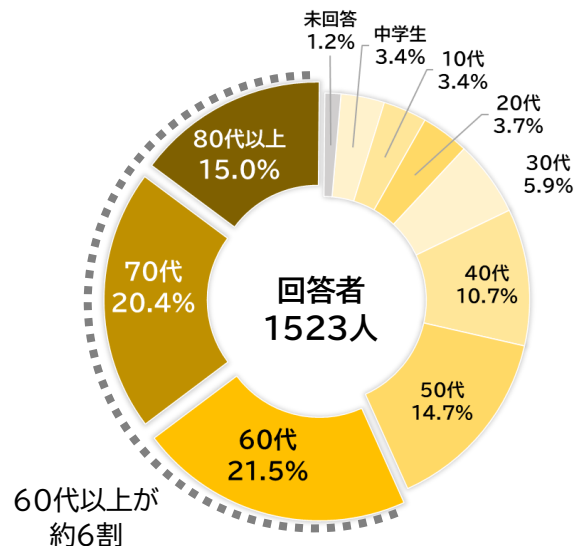
計画の策定に先立ち、中学生以上の全住民を対象にアンケート調査を実施しました。

令和5年7月に住民アンケートを実施し合計1523人の方に回答をいただきました。

全世帯に対して調査票を区長・班長さんを通じて配布し、回収していただきました。

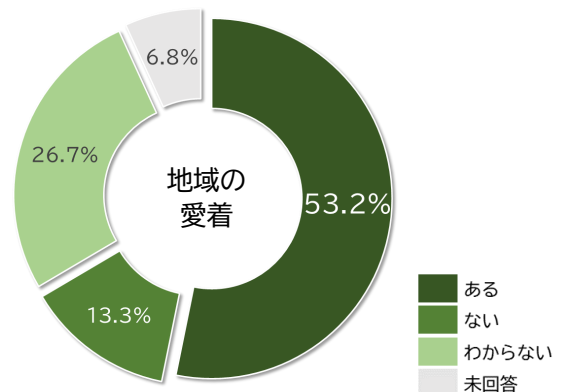
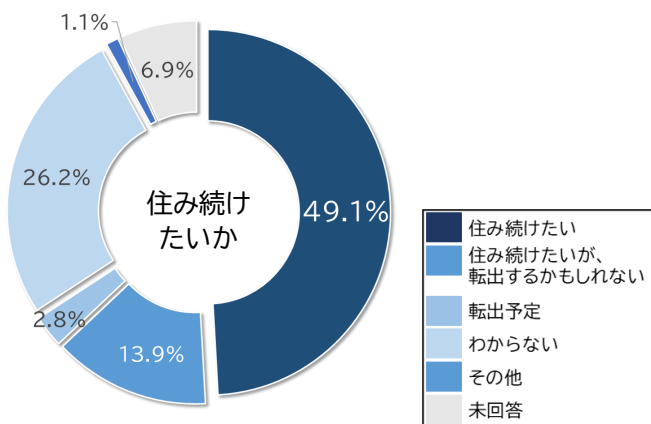
回答は1523人、15歳以上人口（約2100人）の約73%の方に回答していただきました。

回答の年代は60代が21.5%、70代が20.4%、80代以上が15.0%と、60代以上の回答者が多く、合計で約6割となっています。



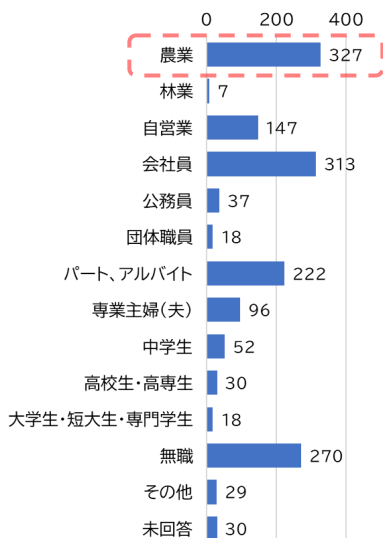
「地域に住み続けたいと思うか」については約6割の方が「住み続けたい」「住み続けたいが転出するかもしれない」と答えています。

地域への愛着の有無では、地域全体で5割以上の方が「愛着がある」と答えています。



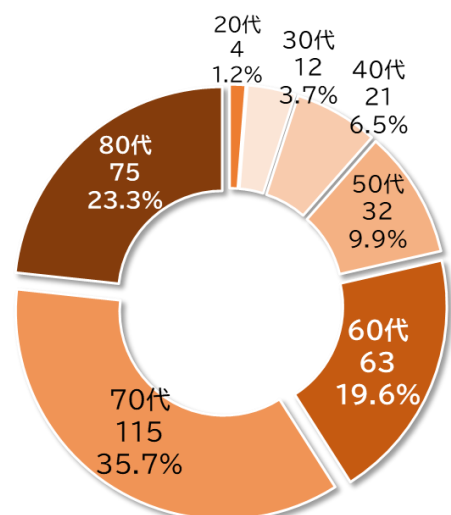
職業の内訳について「農業」と答えた方が一番多く、次に「会社員」となりました。

高齢者の回答が多いため「無職」の方も多いです。池田地区には農業従事者が多く、約8割が60代以上となり農地の維持管理が今後の課題になります。



農家	専業	兼業
327	281	46

年代	農業従事者
10代	0
20代	4
30代	12
40代	21
50代	32
60代	63
70代	115
80代	75
計	322



■ やってみたい・協力できる活動（年代別）

10代から40代は「運動会等のイベント」、40代から70代は「環境美化活動」を選ぶ割合が比較的高くなっています。年代によって違いがみられます。

年代	中学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上
人数	52	51	57	91	163	224	327	311	228
道路清掃、草刈り、花植などの環境美化活動	31%	14%	19%	21%	38%	44%	46%	45%	28%
自然観察会、資源物回収など環境保全活動	12%	0%	5%	8%	9%	9%	10%	9%	4%
避難訓練、消防・防災活動	19%	2%	5%	8%	15%	9%	9%	14%	4%
運動会、まつり、フェス等のイベント	88%	43%	30%	34%	28%	20%	16%	15%	7%
防犯や交通安全の活動	8%	6%	2%	3%	12%	6%	9%	7%	2%
除雪作業など冬の生活の手伝い	15%	10%	7%	7%	12%	11%	15%	13%	3%
サークル活動、生涯学習、健康づくり	10%	2%	4%	3%	7%	9%	8%	14%	6%
見守りや配食など、高齢者の生活支援	10%	8%	5%	1%	6%	8%	7%	9%	3%
子育て支援	6%	8%	11%	12%	9%	6%	5%	4%	2%
子どもの体験活動や学習支援	21%	14%	16%	16%	13%	4%	4%	3%	1%
買い物・通院などの移動支援	8%	0%	4%	4%	6%	5%	9%	7%	2%
耕作放棄地、山林の荒廃防止活動	4%	4%	2%	5%	5%	6%	5%	6%	2%
鳥獣被害防止の活動	8%	0%	4%	3%	4%	5%	9%	9%	6%
ご近所の掃除やゴミ出し等の手伝い	25%	4%	5%	2%	6%	8%	11%	8%	2%
空き家紹介や地域紹介などの移住促進	8%	4%	4%	4%	5%	4%	2%	4%	2%
広報の作成など、地域への情報発信	2%	4%	4%	3%	1%	2%	1%	2%	1%
ITを活用した地域活動・町内活動	4%	8%	5%	2%	4%	2%	2%	1%	2%
その他	0%	0%	2%	3%	2%	1%	1%	2%	3%
特になし	8%	45%	49%	36%	29%	32%	29%	24%	33%

■ 暮らしの中の困りごと（年代別）

全世代で「獣害被害」「買い物が不便」が多く挙げられています。中学生から40代は「学校が少人数になること」、40代から80以上は「自身の健康のこと」が割合が高くなっています。

年代	中学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上
人数	52	51	57	91	163	224	327	311	228
自分自身の健康のこと	23%	10%	9%	16%	38%	47%	53%	58%	40%
除雪作業などの冬の生活のこと	13%	14%	18%	24%	31%	35%	43%	35%	23%
運転ができなくなる	13%	2%	2%	4%	12%	23%	39%	60%	33%
クマ・シカ・サルなどの獣害被害	35%	16%	19%	31%	28%	38%	35%	34%	21%
ヤマビルの被害のこと	21%	8%	19%	24%	25%	38%	36%	40%	22%
田畑や山林の維持のこと	13%	10%	19%	18%	28%	37%	37%	34%	15%
日常の買い物が不便になること	46%	18%	26%	21%	26%	25%	29%	34%	27%
空き家の管理のこと	4%	6%	12%	22%	25%	24%	26%	28%	14%
災害のときの備えや避難の仕方	40%	27%	19%	21%	20%	23%	23%	21%	13%
通学、通院などの交通手段のこと	23%	14%	16%	8%	17%	23%	25%	30%	12%
金融店舗(ATM)がないこと	2%	4%	18%	12%	17%	15%	23%	24%	15%
仕事・雇用のこと	12%	22%	21%	27%	23%	34%	16%	7%	4%
電気器具等の取り替えなど軽作業	6%	4%	7%	5%	8%	12%	20%	20%	15%
小学校・中学校が少人数になる	40%	24%	23%	26%	28%	13%	10%	5%	4%
世話をしてくれる人がいないこと	4%	6%	9%	4%	12%	12%	14%	12%	11%
医療や福祉などのサービスのこと	2%	2%	5%	5%	10%	11%	14%	13%	13%
仕事の後継者のこと	6%	2%	4%	3%	7%	10%	12%	16%	9%
ゴミ出しなどの日常生活のこと	13%	2%	0%	2%	4%	5%	13%	15%	13%
気軽に集まれる場所や機会がない	23%	6%	19%	10%	6%	4%	8%	11%	10%
子どもが遊べる場所がない	17%	10%	21%	21%	15%	8%	6%	3%	4%
少子化による遊び相手の確保	12%	6%	19%	24%	17%	8%	7%	2%	2%
学校が遠く、通学が不便	8%	10%	18%	11%	15%	6%	7%	2%	3%
悩みを相談できる相手がない	8%	4%	7%	9%	3%	4%	6%	6%	7%
進学・進路・学習環境のこと	21%	12%	11%	11%	15%	5%	4%	0%	0%
結婚のこと	6%	4%	16%	11%	4%	1%	2%	0%	3%
その他	0%	0%	0%	2%	5%	3%	1%	1%	4%

6) 池田地区の課題と5つの基本方針

池田地区では一年を通じて様々な活動を行っています。話し合いやワークショップでの意見交換や住民アンケートの結果から池田地区の課題がいくつか挙げられています。そこで、前例踏襲の事業だけではなく、池田地区で安心して暮らし続けられるために、地域が一致団結し、お互いに協力し、助け合いながら前進し、時代と地域にあった活動を進められるよう5つの基本方針を定め、「優しさあふれ 人が輝き 誰もが生きがいをもって暮らせるまち」を目指し、今後取り組んでいきます。

●各種団体の苦勞や問題

- ・ 役員の高齢化
- ・ 役員のなり手がいない
- ・ 前例踏襲で代わり映えない
- ・ 事業のマンネリ化
- ・ 実行することが目的化している
- ・ 若い人の活躍の場が少ない

●暮らしの問題

- ・ 高齢者のみの世帯が増えてきた。
- ・ 子どもが少なくなった。
- ・ 子どもが気軽に遊べる場がない。
- ・ 豪雨、地震、雪害などの災害への備え
- ・ 有害鳥獣への対策
- ・ 空き家や耕作放棄地の増加

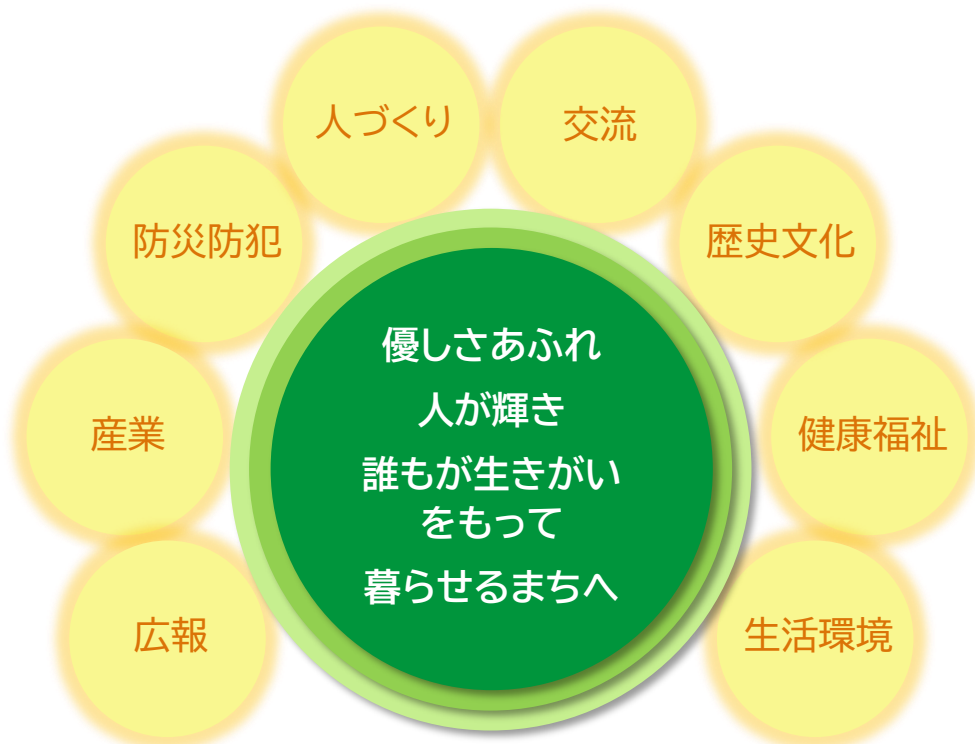
基本方針1 : 安全で安心して暮らせる地域づくり

基本方針2 : 人と人とのつながりを大切にする地域づくり

基本方針3 : 豊かな自然を生かし魅力ある地域づくり

基本方針4 : 歴史と文化を大切にした地域づくり

基本方針5 : 資源を活かし人も経済も循環する地域づくり



基本方針１：【安心・安全】安全で安心して暮らせる地域づくり

今後さらに人口減少と高齢化が進み、自ら運転できない人が多くなることが予測されます。さらに、公共交通機関の運行の減少等も今後十分に考えられ、買い物等の足の確保が心配されます。池田地区に安心して住み続けられるよう、お互いができるところから始められる支え合いの仕組みが必要です。高齢者の暮らしを支える活動や、住民同士の助け合いの仕組みづくりを進めます。

また、地球温暖化の影響で甚大な災害が全国各地で発生するようになりました。今まで災害がなかったからと安心することなく平時から有事に備える必要があります。



基本目標	事業	活動内容
高齢者にやさしい地域を目指す	買い物支援・移動支援	円卓会議を開催し、買い物、通院等の移動手段の課題解決に取り組む
	お茶飲みサロン	高齢者が参加しやすい交流の場をつくる
支え合う環境をつくる	いけだサポーター(いけさぽ)の拡充	地域で支え合える仕組み作りに取り組む 次世代を担う人材の発掘と育成
安心して暮らせる地域にする	防災対策の推進(防災訓練、防災キャンプ、防災講座、防災士などの育成)	防災意識の高揚や地域ぐるみの防災活動を推進 防災講座や防災訓練を実施

基本方針２：【交流】人と人とのつながりを大切にする地域づくり

地域で様々な支え合いとつながりをつくるためには、住民同士が交流し、顔見知りになることが大切です。地域の人たちが楽しく交流し、様々なことについて活動出来る機会を増やすと共に、若い世代や多くの方が地域づくりの現場で活躍できる仕組みを整えます。



目標	事業	活動内容
世代を超えてつながる	IKEDA区民フェス	子どもからお年寄りまで参加出来る競技とし、誰でも楽しく参加することができ、地域の交流の場として開催する
未来へ向けた話し合い	あすいけ	*あすいけ：明日の池田を考える会の略。池田地区に住んでいる方や関わりのある方が年齢や役職を問わず集まり、地域のことについて話し合うための会を開催する
若者や女性の声を聞く	若者・中堅・女性会議	若い世代、中堅世代、女性などそれぞれの年代で悩んでいること困っていること、思っている事を話し合う場の機会を作ります

基本方針3：【自然・環境】豊かな自然を生かし魅力ある地域づくり

池田地区には四季折々の美しい風景や豊かな自然がたくさんあります。地域の魅力を発見する機会を増やし、楽しく学び、帰ってきたくなる地域を目指します。

一方で、農業に関わる人の高齢化により、田畑の管理や、草刈り等の管理が徐々に難しくなっています。有害鳥獣による農作物の被害も増大し深刻化していることから対策が必要です。



目標	事業	活動内容
地域の魅力を発見する	池田お宝さがし	まち歩き、自然散策、歴史講座等を開催 地域の史跡や伝統文化を学と共に、歴史的資源を継続して伝承する
	フォトコンテスト	自然豊かな風景を記録に残すフォトコンテスト
農地や環境を守る	鳥獣対策	有害鳥獣対策や環境保全の勉強会の開催
	耕作放棄地の有効活用	耕作放棄地解消のための活動を検討
元気な農業を目指す	子ども農業体験	子どもの農業体験による後継者育成
豊かな自然環境を守る	環境保全の勉強会	地球温暖化防止に向けた取り組みの勉強会

基本方針4：【歴史・文化】歴史と文化を大切にした地域づくり

池田地区には迦葉山や奈良古墳など、長い歴史と文化が蓄積された魅力がたくさんあります。しかし、地域住民の認識も薄いため、子どもから高齢者までが一緒に歴史や文化を学び、地域特有の伝統や文化を学ぶ機会を設け、理解を深めると共に地域内外に情報発信をしていくことが必要です。

さらに、日々の生活で育まれた助け合いの精神や脈々と受け継がれた地域の伝統を守り、次世代に引き継ぎます。

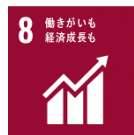


目標	事業	活動内容
歴史と文化を次世代につなぐ	歴史勉強会・散策ウォーク	歴史・伝統をまもる勉強会、パンフレット作成、史跡や自然を活かした交流イベント 史跡を歩いて探訪し地域の歴史を知る。
	奈良古墳整備事業の支援	花植え活動等の支援、現地見学会等の開催。
文化を育み、生きがいを持つ	文化祭・書き初め展開催	文化に親しむ機会をつくり、文化に対する関心や理解を深める。

基本方針5：【産業・総務】資源を活かし人も経済も循環する地域づくり

地球温暖化の防止や資源の有効利用などを視野に入れ、生態系の循環を尊重し、自然の資源(水、山、川、里など)を活かし、自然に負担をかけない、環境にやさしい循環型の地域を構築する必要があります。

自然環境、観光資源や農産物を有効活用することにより地域の活性化につなげ、地域の中で生産された物は地域内で消費し、地域外に流出しているお金を地域内で循環させ、新たな生業を生み出すことができるよう研究を行います。



目標	事業	施策内容
趣味・小商いで生きがいづくり	青空市場・マルシェ	住民が主体的に取り組む新たな事業やコミュニティビジネス 魅力ある特産品を活用した地域おこし
空き家に新たな価値を見出す	空き家の把握と活用	空き家の調査、情報集約、活用方法の模索
持続可能な運営を目指す	行事・組織の見直し	事業や組織の役職等を見直し
	広報活動	いけだ通信、ホームページやSNS等を活用し 地域の情報を住民に周知 池田地区にゆかりのある人に向けた情報発信
	研修会参加・先進地視察	地域づくり講演会や研修会に参加 講演会や視察研修を実施

各基本方針にあるマークはSDGs(エスディージーズ)のものです。SDGsは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略です。2015年の国連サミットにおいて採択されたもので、貧困や飢餓、さらには気候変動や平和など広範な分野にわたって17の目標が設定されています。

その理念は「誰一人取り残さない」社会の実現を標榜し、開発途上国のみならず先進国も含め全ての国や関係者の役割を重視し、経済・社会及び環境の三側面を不可分なものとして調和させる統合的取組について合意されたものです。

そこで、池田地区の地域づくりについても、SDGsの視点を取り入れることとし、各方針がSDGsの様々な目標に結びついていることを示すため、17の目標のアイコンを使って視覚的に分かりやすく見える化しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



7) 計画の推進

地域づくり計画達成のための主な事業		実施時期				
		R6	R7	R8	R9	R10
1. 安心・安全	○買い物支援・移動支援 ○お茶飲みサロン ○いけだサポーター(いけさぼ)の拡充 ○防災対策の推進	●		●		
2. にぎわい・交流	○IKEDA区民フェスの開催 ○「あすいけ(*)」の開催 ○若者、中堅、女性会議の開催	●				
3. 自然・環境	○文化資源等を巡るまち歩き ○池田お宝さがし ○フォトコンテスト ○鳥獣害対策 ○耕作放棄地の有効活用 ○子ども農業体験 ○環境保全の勉強会	●				
4. 歴史・文化	○歴史勉強会・歴史散策ウォーク ○奈良古墳整備事業の支援 ○文化祭・書き初め展の開催	●				
5. 産業・総務	○青空市場・マルシェの開催 ○空き家の把握と活用 ○行事・組織の見直し ○広報活動 ○研修会参加・先進地視察	●				

(*)あすいけ:明日の池田を考える会の略。池田地区に住んでいる方や関わりのある方が年齢や役職を問わず集まり、地域のことについて話し合うための会

この計画は、池田地区の将来像の実現に向けて分野別の目標を定め、その課題と解決策の方向性を体系的に整理し、自分たちの地域は自分たちで創り育てていくという理念に基づいた計画です。

具体的な事業展開については、各種団体等と連携を図り、適切な役割分担をしながら取り組んでいくものとします。

また、この計画は、池田地区住民で共有し、共に考え、共に悩み、共に行動するため住民一人ひとりの主体的な参加と協力をいただきながら推進するものとします。

計画に盛り込まれている解決策や目標については、実現に多くの時間や財源を必要とするものもあります。皆さんの要望や提案などは年々変化してきますので、随時見直しを図ってまいります。

この計画の策定を地域づくりの始まりの元年と位置づけ、行政を始め関係機関と連携・協働しながら「池田」の良さを感じられ、住んでいる人が安心して幸せを感じ、心豊かな生活を送ることができるような、魅力ある地域づくりを進めていきましょう。

池田地区振興協議会では、一緒に池田地区の地域づくりを盛り上げる「いけだサポーター(通称:いけさぼ)」を募集しています。

自然環境、福祉、交流、子ども、伝統文化、歴史、防災、防犯、広報活動、生活支援などあなたの関心のあること、やってみたいことを活かしてみませんか？

興味ある方は池田地区振興協議会までご連絡ください。



令和6年6月発行

発行：池田地区振興協議会

編集：池田地区コミュニティセンター

住所：沼田市発知新田町530番地3

TEL：0278-23-9851